

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

令和4年7月のHPきごころ通信 (先月の話題)

目次

- (1) 🚩大成建設が私募REIT 10年後1000億円 清水など組成準備
- (2) 🏙️水都・大阪 オシャレに変身 川を浄化、万博へにぎわい
- (3) 👤マナーのツボ 質問の仕方は？
- (4) 🚩大成建設、パパも全員育休 男性8割でも3年連続
- (5) 🏠いじめ対策、各国も模索 仏、13歳以上 禁固10年も
- (6) 👤マナーのツボ 美しいお辞儀 相手に心と足先を向ける
- (7) 🏢設備投資回復 25%増 脱炭素や半導体 積み残し消化も
- (8) 👤65歳以上、912万人が「現役」 主要国も軒並み上昇

(1) 🚩大成建設が私募REIT 10年後1000億円

清水など組成準備 不動産開発で収益拡大

- *大成建設は非上場の不動産投資信託（REIT）に参入。
 - ・来春の組成に向け資産運用会社を設立し、10年後をめどに1000億円の運用規模を目指します。
 - *清水建設や西松建設も組成準備を進めます。
 - *開発不動産をREITへ売却して資金を早期に回収し、次の案件に振り向けます。
 - *総資産を膨らませずに効率よく不動産開発を進めて収益基盤を拡大します。
 - *ゼネコンは建設事業の収益が景況感に左右されることから、安定収益が見込める不動産開発事業の拡大を進めます。
 - ・開発物件を長期保有することで自社計画の投資枠を超えてしまう恐れも。
 - ・物件を私募REITに売却することで投資枠を効率的に回転させたい考え。
- (2022年6月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(2) 🏙️水都・大阪 オシャレに変身

川を浄化、万博へにぎわい スポーツ拠点や定期船

- *江戸時代に舟運で栄えた大阪は「水都」への回帰を目指し、川辺に相次いでにぎわい施設を整備。
- *大阪で河川の積極的な活用が考えられるようになったのは2000年以降。

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

- *2009年に開いた「水都大阪2009」と呼ぶイベントはひとつの転換点に。
 - *大阪市内の舟運利用者数は2018年度に120万人を上回り、2012年度に比べて3倍近くに増加。
 - *2020年には、大阪市内を流れる尻無沿いに複合施設「タグボート大正」がオープン。
 - *国土交通省が2009年から支援を始めた川を生かした地域整備計画「かわまちづくり」では、大阪府の登録スポットが8箇所と関西で最多。全国でも9番目。
 - ・京都府5箇所、兵庫県と奈良県が各3箇所。
- (2022年6月4日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(3) マナーのツボ 質問の仕方は？

- *「質問の仕方」：話を広げたりまとめたりできる重要なスキル。
 - *「オープン質問」：相手が自由に答えられ、話が広がりやすい質問。
 - ・相手に100%回答内容を委ねるので、時には想定外の答えを聞けます。
 - ・質問内容によっては返答に窮したり、話が広がりすぎて焦点がずれたりすることもある。
 - *「クローズド質問」：「はい、いいえ」の選択肢から選ぶ、または名前のように答えが1つしかない質問。
 - ・「はい」「いいえ」でこたえられるので、相手にとって負担が少なくてすみません。
 - ・ただ何度も続けると尋問的になるので注意が必要。
 - *この2種類の質問スキルを相手や状況に合わせて会話に組み込むことがポイント。
 - *緊張している相手にはクローズド質問で心の緊張を解きます。
 - ・会話が弾んできたならオープン質問を加えると、自然と話しやすい状態になります。
 - *饒舌な相手にはオープン質問で思うように話してもらいます。
 - ・きりのいいところで「一度整理しましょう」とクローズド質問に切り替え、「これは〇〇ということですね？」と確認していくことで、認識のずれを防げます。
- (2022年6月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(4) 大成建設、パパも全員育休 男性8割でも3年連続

申請・収入・昇進の不安除く

*約8600人いる社員の8割を男性が占める大成建設が、育児休業取得率100%を3年連続で達成。

*建設業界は20年間で就業者数が150万人も減り、担い手不足が深刻。

*大成建設は2016年に取得率100%の目標を掲げました。

・子供が満2歳を迎えるまで、父親に取得権が与えられます。

・2019年度生まれの場合、平均取得日数は9.7日。

・社内の男性の6人に1人が経験者。

*国は2022年10月に出産直後に取得を促す「男性版産休」を創設し、2023年4月には従業員1000人超の事業主に取得率を開示することも義務付け。

*2020年度時点の全国の男性の育休取得率は12.7%どまり。

*「上司や職場の無理解」という壁への大成建設

・トップが発破をかけ、役員、部長、課長と上から下へ意識改革を迫りました。

*「収入の減少」の壁への大成建設

・5日間まで育休を有給扱いにできる制度を、今秋にも大幅に拡充。

・男性版育休を使う場合は、1か月分を有給扱いにできる方向で検討。

*「復帰後のキャリア不安」という壁への丸井グループ

・昇進試験の受験資格は直近1年分の評価をもとに与えられます。

・育休を挟んだ場合、公平になるよう取得期間を除いて前後計1年分の評価を使います。

*大成建設は心理学に詳しい大学教授を招き「成長における父性の大切さ」を解説する研修も。

(2022年6月15日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(5) いじめ対策、各国も模索

仏、13歳以上 禁固10年も

*いじめ対策は各国も模索。

*フランスは、状況に応じて13歳以上の加害者に最大で禁固10年を科す法改正。

*米国では、インターネット上を含め個人への攻撃や継続的な嫌がらせを禁

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

止する法整備が進みました。

*いじめ対策が進んでいるとされるフィンランドは、2000年代後半に統一的な防止プログラムを導入。

・学校でいじめの傍観者にならないことに重点を置いた教育に力を入れています。

(2022年6月16日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(6)  マナーのツボ 美しいお辞儀



相手に心と足先を向ける

*廊下や道路では中央が上座で、端が下座。

*足先を相手にきちんと向けて、止まって美しい会釈を。

*きれいなお辞儀は頭、首筋、背筋がまっすぐになっています。

*相手を感じさせるのは、相手の方にきちんと心に向けているかどうか。

*心を込めた美しいお辞儀を。

(2022年6月18日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(7)  設備投資回復 25%増



脱炭素や半導体 積み残し消化も

供給制約が実現左右 今年度日経新聞社調査

*全産業の設備投資計画額は、前年度実績比25%増える見通し。

*伸び率は1973年度以来の高水準。

*2022年度の設備投資の総額は28兆6602億円と、3年ぶりに増加。

*2021年度調査では当初、設備投資額は2020年度比10.8%増を見込みましたが、実績は0.2%減。

*2022年度に25%増を見込む設備投資のうち、10%程度は2021年度の積み残しが押し上げた可能性も。

*業種別では自動車が23.6%増を計画。

*今後も半導体などの部品や材料の供給制約が続けば、設備投資が滞って需給がさらに逼迫し、最終製品の価格上昇にも拍車がかかる可能性も。

*世界的なインフレが一段と進めば、企業の投資意欲が再び冷え込む悪循環に陥る懸念も。

(2022年6月21日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

(8)  **65歳以上、912万人が「現役」**

主要国も軒並み上昇

*65歳以上の高齢者就業率は上昇しています。

・2021年は4人に1人にあたる25.1%となり、10年前の19.2%と比べて5.9ポイント増。

*15歳以上の就業者総数に占める高齢者の割合は13.7%。1968年以降最高。

*2020年の高齢就労者は、「卸売業、小売業」が最多の128万人。

*高齢者の就業率は主要8か国でも軒並み上昇。

・2020年時点では韓国34.1%、米国は18.0%、英国は10.5%。

(2022年6月27日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

